

# 数研出版の studyaidD.B.デジタル指導書の導入 ～授業での効果的な利用を考える～

## 1. デジタル教科書とは

プリント作成とプレゼンテーションを一体化したソフトで、新課程版が発売された。値段は通常版で18,000円。数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学A、数学Bが発売されている。各科目は購入すると全ての種類の教科書のデータが利用可能。

## 2. 主な機能

プレゼンテーションモードの特徴

- ・教科書の紙面を拡大し投写できる。
- ・紙面の拡大縮小回転などが自由にできる。
- ・紙面への書き込みができる（ペン、マーカーなどが使える）
- ・紙面をふせんの様なもので隠すことができる
- ・理解を助けるためのコンテンツがある
- ・オリジナルの付録を使うことで、生徒の新しい視点を作ることができる。

プリント作成モードの特徴

・

## 3. 活用のメリット、デメリット

メリット

- ・速習に適している。
- ・板書を大幅に減らすことができる。
- ・教科書の例題、練習問題をプリントにすることができる。
- ・アニメーションを利用して生徒の理解の一助とできる。
- ・全てのレベルの教科書を利用できるので基本問題や応用問題も選びやすい。
- ・プレゼンモードは他の書籍（チャートや傍用問題集）の紙面も映し出せるので解説に使いやすい。

デメリット

- ・PCを起動しなければ利用できない。HRで利用するにはやはり不便（iPad版デジタル教科書は出たが・・・）
- ・電子黒板の様に書き込むには機能が少ない。（線やマーカーなどはあるが図形を書くのは苦手）
- ・アニメーションやコンテンツが「Grapes等で先人達が作成したもの」を超えるものは少ない？  
というかない。
- ・18,000円は高い。



#### 4. 授業での活用事例（実際の授業で活用した事例の報告）

授業の基本的な構成 

講義	→	演習
----	---	----

このサイクルを速くすることを、スタディエイドを利用することで実現する。

- ①プリント配布
- ②机をグループにする
- ③講義（定理、例題などの解説）15分程度
- ④演習 25分程度
- ⑤小テストと振り返り（別紙参照）5分程度

別紙のプリント参照。プリント作成は10分程度